

オススメ新着本!

『おたまじゃくしの降る町で』 八束 澄子 / 著 講談社 / 発行 (Y913.6-ヤ)



ラグビー部のリュウセイは、幼馴染のハルが大好きだけど、ハルはとことんつれなくてー。

山間の田舎町を舞台に、中学生の恋や友情、家庭の問題などを描いた、直球ド真ん中! な作品です。いろいろあるのが人生だけど、「真剣に生きる」というメッセージが伝わってきます。

『ヘヴンアイズ』

デイヴィッド・アーモンド / 著 河出書房新社 / 発行 (Y933.7-ア)



孤児院を脱走したエリンたち3人は、手作りの筏で川を下る途中、沼地に座礁してしまいます。そこで出会ったのは、ヘヴンアイズと名の不思議な女の子。彼女に連れて行かれた廃工場には、記憶障害のため、ノートに日々の記録を付け続けるグランパと呼ばれる老人がいました。奇妙な2人との交流を通して、エリンたちは自分の人生を見つめ直します。グランパが隠していた秘密と悲しみ、そしてヘヴンアイズへの愛情が胸を打つ物語です。

『一鬼夜行』 小松 エメル / 著 ポプラ社 / 発行 (Y913.6-コ)



明治維新直後の東京で、古道具屋を営む喜蔵の家に降ってきたのは、小春と名の鬼の子。小春いわく、自分は百鬼夜行からはぐれた大妖怪だという。

かくして、一人と一匹の同居生活が始まりますが、その周囲は妖怪騒ぎに巻き込まれることにー。素直になれない2人のやりとりが、おかしくも切ない妖怪小説です。

中央図書館では、YA 広報誌『ポルターダ』と一緒に作ってくれる中高生の方を引き続き募集しています。図書館カウンター、電話または E-mail にてお問い合わせください。

YA ブックリスト 第 14 号

平成 22 年 9 月発行

稲城市立中央図書館

稲城市向陽台 4 - 6 - 18

☎042 - 378 - 7111

<http://www.library.inagi.tokyo.jp>

E-mail: inagilib@library.inagi.tokyo.jp



稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



秋の夜長はミステリー! 特集

日が暮れるのが、だいぶ早くなりましたね。夜には虫の声も聞こえ始め、徐々に秋の気配が感じられるようになってきました。

今回のブックリストはミステリー特集です。秋の夜長にぴったりな作品を紹介します! ワクワクドキ、推理してみてくださいね。



その前に、まずは食欲旺盛なこの時期にオススメの一冊からどうぞ♪ 『絵本の中の幸せスープレシピ』

東條 真千子 / 著 辰巳出版 / 発行 (Y596-ト)



本書は、だれもが1度は読んだことがあるような懐かしい絵本からイメージした、スープのレシピ集です。野菜のスープ、ごはんスープ、デザートスープなど、見た目もかわいく、とっても美味しそうなスープが全35品、絵本とともに紹介されています。

作り方もとっても簡単なので、お料理ビギナーさんでも大丈夫! ぜひ作ってみてね。

ミステリー特集

『青春探偵団』 山田 風太郎／著 ポプラ社／発行 (Y913.6-ヤ)

忍法帖シリーズで有名な山田風太郎の青春ミステリーです。霞が城高校の探偵小説愛好者クラブ、通称「殺人クラブ」の面々の活躍を描いた6編を収録しています。メンバーの男女6名はいずれもひと癖ある人物ばかり！忍法こそ使わないものの、大胆不敵、勇猛果敢に事件に挑んでいきます！



『危険ないところ』 ナンシー・ワーリン／著 評論社／発行 (Y933.7-ワ)

ある事件を起こしたため、親戚の家に単身引っ越してきたデイヴィット。そこで高校3年生をやり直すこととなりますが、11歳のいとこ、リリーから執拗な嫌がらせを受けることに。そして、4年前に亡くなったリリーの姉・キャシーの、「リリーを助けて。」という声が聞こえるようになります。キャシーの死の謎や、家族間の問題、自身の罪への葛藤をはらみながら、しだいにリリーの行動はエスカレートしていき、ついに…。



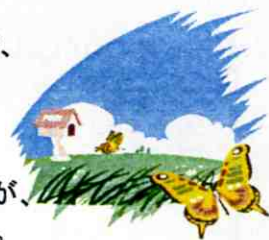
『警察官・女性警察官になろう』 ネクストドア／編 インデックス・コミュニケーション／発行 (Y317.7-ネ)

ミステリーにはつきものの、刑事さんたち。でもその所属や警察の組織機構ってあんがい知らないことが多いのでは。本書は、警察組織の部門別の仕事内容や待遇、なり方や現役警察官へのインタビューなど、警察官のを知るためのガイドブックとして最適！いろいろな活躍の場があることが分かりますし、各部門所属の警察官のお話からは職務に対する熱い思いが伝わってきます。採用試験出題例も付いているので、試してみてくださいね♪



『黄金蝶ひとり』 太田 忠志／著 講談社／発行 (Y913.6-オ)

夏休みを祖父が暮らす茶木村で過ごすことになった小学5年生の洸(たけし)。はじめて訪れたその村で、「万能学」を研究している祖父から、生きるために必要な様々なことを学んでいきます。そんなある日、祖父が突然姿を消してしまいます。洸は“山を守る者”であるテツと共に行方を捜しますが、祖父の失踪はどうか村の宝と関係があるようで…。少年が過ごした冒険の日々を描いた、最初から最後まで謎満載のミステリーです。ぜひ最後の謎を解き、著者からのメッセージを受取ってくださいね！



『「悪いこと」したら、どうなるの?』

藤井 誠二／著 武富 健治／漫画 理論社／発行 (Y327-フ)



ミステリー小説はたいてい、犯人が捕まり一件落ち着いたところで終わりますよね。「じゃあ、犯人はその後どうなるの?」という疑問に答えてくれるのがこちら！本書は主に少年犯罪について語られており、少年院での教育や一日の生活スケジュール、更正プログラムなども詳しく紹介されています。

『港町ヨコハマ 異人館の秘密』

山崎 洋子／著 あすなろ書房／発行 (Y913.6-ヤ)

明治時代の港町・横浜。ある夜、家業の人力俵を引いていた女子高生のりんは、ホテルのバルコニーから身投げしようとしていた同級生の喜美を助けます。喜美は悪魔からの手紙に悩んでいるのだと言います。りんは、ホテルの若き総料理長・留伊や、好奇心旺盛なアメリカ人教師、ミス・リードとともに謎に挑みますが、その背後には大きな秘密が隠されているようで…。異国へのあこがれや初めての恋、そして少女たちの自立が描かれたお話です。

